

大川が再び元気に

なつてほしい

石橋建具製作所

石橋 正年さん

一年おきに出品している、全国建具展示会で、連続で大臣賞に輝いた。平成十八年に国土交通大臣賞、二十年に経済産業大臣賞である。そして二十二年は全国森林組合連合会会長賞を受賞している。

梅の木をモチーフにする石橋さんの建具が、全国レベルで高い評価を受けるのはなぜだろうか。「アイデアだと思えます。今までになかったデザインを追

い求めているからではないでしょうか。」と石橋さんは話す。

卓越した技術を持つ職人は全国にたくさんいるそうだが、特に建具の本場である、東北地方はそう。しかし、石橋さんは技術とともに、独創性を重視している。

大丸、高島屋などのデパート建築会社の仕事に若い頃長く携わった。「要求が非常に高かったですね。結果として技術だけ

でなく、提案力、デザイン力、発想力を磨くことができたと思います。提供される平面図を基に、建具、内装の部分が、建物全体の雰囲気と一体感を持つよううな、デザイン、色彩、雰囲気になるように、毎回頭を絞る必要がありました。それが鍛錬になったと思っています。」

いわゆる「職人」と違った目線で、石橋さんが柔軟に発想する背景について、「八年間銀行



